

2022年11月28日
SCSK株式会社

阿波銀行へ顧客フィルタリングシステム「BankSavior Filter」を提供開始

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)が提供する、統合アンチマネーロンダリングソリューション「BankSavior®(バンクセイバー)シリーズ」の顧客フィルタリングシステム「BankSavior Filter(バンクセイバー フィルター)」を株式会社阿波銀行が採用し、2022年12月5日より提供開始します。口座開設や海外送金取引時における金融犯罪の未然防止および既存顧客に対しても定期的なリスト照合を行います。

1. 背景

阿波銀行は、アンチマネーロンダリング(以下 AML)対策およびテロ資金供与の防止や反社会的勢力との取引防止を目的とした一連の確認業務における業務負荷が課題となっておりました。

すでに SCSK が提供する「BankSavior Monitor(取引モニタリング)」や「BankSavior ScoreBoard(顧客リスク評価)」を採用しており、これらのシステムとの連携により、リスクベース・アプローチが可能となり、AML業務の高度化が期待できることから、このたび「BankSavior Filter」を採用しました。

【阿波銀行BankSavior Filter 利用イメージ図】



2. 「BankSavior Filter」の特長

(1) 各ウォッチリストへの柔軟な対応

- ・公的リストだけでなく、金融機関様独自リストにも対応が可能
- ・検索事由にあわせ、照合をかけたいリストや、各リストの照合閾値などを柔軟に対応

(2) 洗練されたシステムロジック

- ・簡易的なあいまい検索ではなく、キーワードとの近さ(編集距離)をスコアリングする手法を採用
- ・照合処理を即時に実施すべく、処理を高速化するためのさまざまな工夫を実施
- ・国内パッケージならではのきめ細やかな機能を提供

(3) フィルタリング業務を支援する機能群

- ・照合結果は各種項目での検索が可能
- ・結果参照時にはユーザー視点に立った結果参照画面を提供
- ・調査済の対象顧客など次回検索時に照合不要な情報についてホワイトリストへ登録が可能

(4) フィルタリング業務を支援する機能群

- ・Bank Savior®シリーズ各製品間のシステム連携強化によるAML対策の高度化を実現
(Bank Savior Monitorとの連携による高リスク顧客の継続的なモニタリング、
ホストを介したBank Savior ScoreBoardへのデータ連携と適正な顧客管理)
- ・今後も多様化すると想定されるウォッチリストのニーズに順次対応

「Bank Savior®」について

マネー・ロンダリングや振り込め詐欺などの金融犯罪対策においては、リスクの特定・評価および、リスクに応じた低減措置(リスクベース・アプローチ)による対応が必要となります。SCSKは、長年にわたり金融犯罪対策業務を支援してきた経験とノウハウを活かし、犯罪対策に必要な機能をBank Savior®シリーズ製品として、80社を超えるお客様にご提供しており、銀行、証券、保険、資金移動業などさまざまな業種でご利用いただけます。

URL: <https://www.scsk.jp/product/common/bnksvr/>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

金融事業グループ 金融営業・ソリューション本部 金融ソリューション営業部 赤坂

E-mail: finance@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-2169

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。